あなたの心にジャストミート 12 月 20 日メッセージ

平和の主イエス（ルカ 2:8-14）

いま、人々がコロナによって不安を抱えて生きています。しかし、事実を見ると、コロナ以前にも不安はあり、コロナ以降にも不安がなくなることはありません。人は、いつでも不安を抱えて生きているのです。その不安を解消しようと、多く所有すればよいかと、努力しますが、多くを所有している人も不安にとらわれて生きているのが事実です。病気でないなら、平安かというと、健康の人も不安です。問題がなく平穏な日々なら、平安かと思っていますが、問題がなくても不安材料はいつもあります。つまり、人間は根本から不安を抱えて生きる存在であり、なにかで変わることはないのです。根底に不安があるので、それゆえ、すべてが問題になります。形はちがっても、人々はすべて不安で、まことの平安を求めてもがいて、あがいて生きるのです。お金があっても不安で、健康があっても不安です。家族の団らんがあっても不安で、なにも問題がなくても不安です。どんなことも、個人の心のさびしさ、不安を解消することはできないのです。個人的に答えがないので、社会のせい、政治のせいにしたり、技術の発達、文明の発展に希望をおいて期待します。また、仕事や趣味に没頭して、不安を麻痺させようとします。しかし、どのようにしても、まことの平安は得られません。このことをクリスチャンはメッセージとして覚えているべきです。

まことの平安は、この世では得ることができず、人が作ることもできません。平安と安らぎをだれかに求めたり、なにかに求めるのは、求める住所をまちがっていることです。まことの平安は、創造主の神様が人に与えてくださったプレゼントです。神様が神のかたちに創造されて(創世記 1:27)、鼻に息を吹き込まれました(創世記 2:7)。この息は、聖霊のことです。それによって人となったと書かれています。神様とともにいるのが人間です。神様の霊なしでは、まともな人間ではないのです。これが人間の構図です。神様はすべてを創造されて、7 日目にすべてのわざを休まれました。それは、完ぺきだということを意味します。この創造の完ぺきさゆえに、安息、平安、安らぎが始まるのです。つまり、完全、完ぺきな創造主の神様がともにおられ、主人となって、責任をもってくださるときに生まれるのがまことの平安、安らぎです。それゆえ、死の陰の谷を歩むとしても、神様がともにおられるので、まことの平安があるのです。神様がともにおられる、ここにのみ、平安があります。勘違いから解放されましょう。神様が完全、完ぺきだと分かってこそ、平安と安らぎを得ることができます。

この神様とともにいたのに、罪を犯し、神様から離れてしまいました(創世記 3:1-7)。そのときから、平安をすべて失い、不安、恐怖、寂しさが生まれるようになりました。神様を離れたので恐怖に陥れるような、奴隷の霊を受けるようになりました。それが不安の根っこにある原因です。生まれながら御怒りを受けるべき子(エペソ 1:3)ですから、不安なのは当然です。一生、死の恐怖につながれて生きていきます(ヘブル 2:15)。この根っこがあるのに、人々は世の中に平安、安らぎがあると、一時的なものでごまかしています。そのような文化が身にしみてしまっているのです。根本にある問題に気づかず、なんとかして自分で解決しようと偶像を拝み、宗教にはまります。精神も肉体も疲れ病気になります。結局、虚無感に捕らわれるのが人間の実像です。

人間のまことの平安は、神様からしか不可能です。神様のあわれみと、愛によってまことの平安を取り戻すためにキリストを遣わしてくださいました。すべてを壊した張本人である悪魔の頭を踏み抱く女の子孫を送ると約束してくださったのです(創世記 3:15)。ここにのみ平安があります。犠牲のいけにえとなってくださり(出 3:18)、罪をきよめ、神様がともにおられる(イザヤ 7:14)ようになる、すべてを完ぺきにまっとうされたのがキリストです。キリストによって、奪われた平安、安らぎを取り戻すことができます。それゆえ、神様は安息日を守りなさいと言われたのです。キリスト以外は方法はなく、キリストだけが安息なので、絶対に忘れてはならないと言われたのです。そのキリストが来られました。それがクリスマスです。クリスマスは「Christ(キリスト)mas(受け入れてたたえよう)」という意味です。天使が羊飼いにあらわれて、キリストを通して、神に栄光、地の上に平和が実現すると言いました。平安と平和があるようにしてくださる、その方こそ十字架で死に、三日目に復活されたイエス様です。イエス様はキリストとして十字架で「完了した」と言われました。人間のなにかを加える必要はありません。人間に不可欠の平安をもたらすために、すべてを完了してくださいました。イエス様は安息日の主(ルカ 6:8)、イエスはキリストです。そして、ご自分のところに来なさい。休ませてあげますと招いておられます(マタイ 11:28)。

イエス様はいまも生きておられ、教会、信者を通して、すべての人に「わたしのところに来なさい。あなたがたを休ませてあげます」と語っておられるのです。その方を平和の王、キリスト、救い主として信じて受け入れるだけで、名を呼ぶだけで、だれでも救われます(ローマ 10:9)。そうすれば、死と罪の原理から解放されます(ローマ 8:2)。そして、奴隷ではなく子としてくださる霊を与えてくださいます(ローマ 8:15)。イエスを受け入れるだけで、いまでも、いまも、そして、これからも不安はなくなります。イエス様が、世が与えるのとちがう平安を与えると約束されました(ヨハネ 14:24)。平安を残すと言われたので、いままでの勘違いをすべて断ち切りましょう。そして、死の陰の谷を歩んでも平安を味わいましょう(詩 23:4)。悪魔とは戦うレベルではありません。恐れることはなにもなく、強くしてくださる方にあって、どんなこともでき、どんな境遇でも、満足する秘訣を心得ていると言えるのです。

イエス様を平和の主、キリストとして心に受け入れて、最高のクリスマスになるように祈ります。他に平安を求めていたことを悔い改め、イエスの中にある平安を味わい、自分の中の不安が消える最高のクリスマスになりますように。そして、まだまことの平安を知らない人に、まことの平安を伝え、分け与える伝道者としての人生を生きて行くと、主の前に心から告白する時になるように祈ります。

http://jremnant.com に音声と動画が出ています)

X-mas 礼拝 - ルカ 2：8-14　平和の主イエス
なるほど/人はクリスマスの主であるイエス・キリストを通して神様と出会い、失われた真の平安を回復して勝　利の人生を歩むようになる。
ならば/イエス・キリストを心に受け入れて今年のクリスマスを、最高のクリスマスにし、このイエスにある　平安を深く味わいこの平安の伝道者になることを
決心するクリスマスにしよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文（2020 年 12 月 20 日）

1 部礼拝：荒野のすべての問題の解決（民 19:1-10）

カナンの地に入るように「更新」の時刻表をくださり、教会と世の中を生かす指導者になるようにしてくださったことを感謝します。赤い雌牛をささげるキリストの契約を握って原罪から解放された神の子どもの力を持ってカナンの地に行きますように。杉の木と、ヒソプと、緋色の糸を投げたように、私が知らずに犯した罪を悔い改めて、更新するいやしが起きますように。私の服とからだについた血、知っている罪をなおして、カナンの地に入って世界福音化をしますように。キリストの契約を正確に握って更新して、だまされないようにさせてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2 部礼拝：岩から出たいのちの水（民 20:1-9）

いま 24 不信仰している信徒、教会の祝福を忘れた信徒、未信者状態に陥った信徒をはやくいやして、サミットにするように答えてくださったことを感謝します。まことのいのちの水として与えられた今日のメッセージを握って、24 みことば黙想を味わいますように。栄光の光が照らされる 24 祈りの幸せの中で、契約が福音化されて、力が回復しますように。問題がくるとき、幕屋にひれ伏して、24 経済(237 異邦人の庭/いやし-祈りの庭/サミット-子どもたちの庭+光の経済+文化回復)を味わいますように。私のミッションを握りますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。